

令和7年度企業パートナーシップ事業計画

茨城県近代美術館運営支援協議会は、茨城の文化芸術の創造を目指して運営される茨城県近代美術館を支援し、もって地域の振興に寄与する事を目的に、次の事業を実施する。

＜対象事業＞

- 1 展覧会の開催
- 2 郷土作家等に関する調査研究
- 3 教育普及活動
- 4 その他目的達成に必要な事業

【令和7年度の主な事業計画】

区分	事業計画	予算（千円）
展覧会の開催	○ 安野先生のふしぎな学校展:近代美術館 会期:9月13日(土)～11月16日(日) 画家、絵本作家、装丁家、執筆活動など、幅広い分野で活躍を続けた小学校教員安野先生の企画展にパートナー企業からの支援金を充当して開催	1,000
	○ 浮世絵展:五浦分館 会期:4月26日(土)～6月8日(日) 150年以上前の暮らしに今を見いだす企画展にパートナー企業からの支援金を充当して開催	2,000
	○ 企画展準備積立金 本館及び五浦分館の次年度以降に開催する企画展のための準備金	5,000
教育普及活動	○ 教育普及アートバス事業 (概要) 県内の小学校が、教育活動として近代美術館並びに五浦分館の展覧会鑑賞やハロー！ミュージアムや館が用意する種々のワークショップ体験等を目的に来館する場合、当該活動を実施するために必要なバス借り上げ料等を助成する。 ・ 予算額:3,700千円 ・ 対象経費:大型バス1台の借り上げ料及び高速料金 ・ 助成費:1校上限20万円(複数校合同での実施も可とするが、その場合も上限は同額とする。	3,700
その他必要 目的達成事業	○ 展覧会広告費 ・ 令和7年度開催の企画展にかかるPR経費	4,200
	○ 企業パートナーシップ事業広報費 ・ 特典イベント開催費、サインボード改修費等	2,700
	○ 館活動充実費 ・ オリジナルグッズ制作費等	900
企画展 広報活動	○ パートナー企業からの役務提供による広報活動 ・ 常陽銀行:全営業店舗のデジタルサイネージで全企画展の情報発信 ・ トヨタ自動車:全営業店舗のデジタルサイネージで全企画展の情報発信 ・ 関東鉄道:路線バスの車体広告で企画展の情報を発信、竜ヶ崎線・常総線の11駅でポスター掲出による情報を発信 ・ 茨城交通:路線バスの車体広告及び車内放送で企画展の情報を発信 ・ イオンモール:アプリ会員に企画展情報をプッシュ型で配信 ・ LuckyFM茨城放送:ラジオ放送内で企画展のCM広報	5,500